

スマイル



特集

ひらこうオンラインミニレクチャーについて

3号館病棟について／認定看護師通信 vol.61

新型コロナウイルスからの行動制限が明けた初めての秋ですが、みなさまはいかがお過ごしでしょうか？今回の特集では枚方公済病院から毎月情報発信をさせていただいている「ひらこうオンラインミニレクチャー」について紹介をさせていただきます。2020年7月の第1回から2023年10月の第35回まで開催させていただき、当院を中心とした様々な専門分野の医師より最新の情報や当院の取り組みなどを、月1回Web配信の形式で発信させていただいています。第35回までの視聴参加者はのべ院外512名、院内1,025名で合計1,537名であり、数多くの開業医の先生や院内職員をはじめとして、現在は院外薬局の薬剤師の先生やケアマネージャーさんなどをはじめとした医療職の方にもご参加いただける会となりました。講演内容に関してもすべての内科をはじめとして、救急科、外科や泌尿器科、放射線科など多岐に渡り、最新の情報から日常臨床に還元できる内容の提供を心掛けています。

きっかけとしては2020年の春から新型コロナウイルスによる行動制限により、地域の先生方や医療職の方々との交流が出来なくなったことから、なんとか顔が見える関係を継続出来ればという願いで開始したものです。開始時は講演する側も視聴していただく側も不慣れなことが多くご迷惑をおかけしていましたが、各施設やご家庭から気軽にご参加いただけるというWeb配信のメリットから、これだけ多くの方にご参加いただいています。

ご視聴希望の方は地域医療連携室までメールにてご連絡いただけましたら、視聴用ウェビナーID、パスコードをお知らせいたします。また、病院公式ホームページにも掲載いたしております。

E-mail : k-renkei@juno.ocn.ne.jp

講演内容は録画をしておりますので、ご希望の方にはWebで視聴していただくことも可能です。当院の地域医療連携室にお問い合わせください。講演内容のリクエストも随時受け付けています。今後は対面形式での会も同時に開催していきたいと考えていますが、オンラインのメリットを最大限に活かしてみなさまに少しでもお役に立つ情報発信をしていきます！

次回は11月15日（水）16日（木）18時30分から日本赤十字社 和歌山医療センター 循環器内科 田崎 淳一先生のご講演を予定しております。



循環器内科 副部長
高林 健介



第35回

ひらこウ オンライン ミニレクチャー

..... zoom Webinar を使用したオンラインによるレクチャーです

2023年10月18日(水)・19日(木) 18:00-18:45

両日、講演は同内容・木曜日は録画配信です



演者 泌尿器科副部長 岡所 広祐

演題 「ロボット支援下前立腺全摘除術～ 当院の現状と工夫～」

10月18日



ウェビナー ID：
980 6479 1866
パスコード：
363599

10月19日



ウェビナー ID：
941 6727 3650
パスコード：
085883

※講演終了後、質疑応答の時間を
設けております。

※ご参加の際は所属・氏名がわかる
アカウント名にてお願いします。

ご質問、手順のお問い合わせ及び、今後メールでのお知らせご希望の方は
枚方公済病院 地域医療連携室までご連絡ください。

▶▶▶ TEL:072-808-0010 E-mail:k-renkei@juno.ocn.ne.jp

次回、11月開催の第36回は11月15日・16日に開催を予定しております。



ひらこうオンラインミニレクチャーアーカイブ一覧 枚方公済病院 Zoom レクチャー

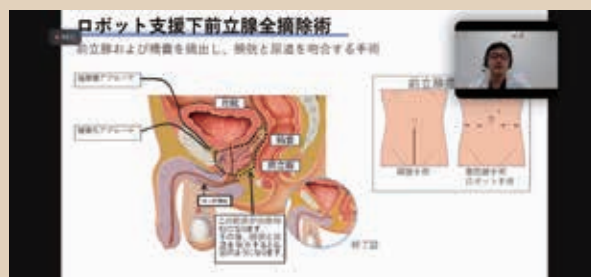
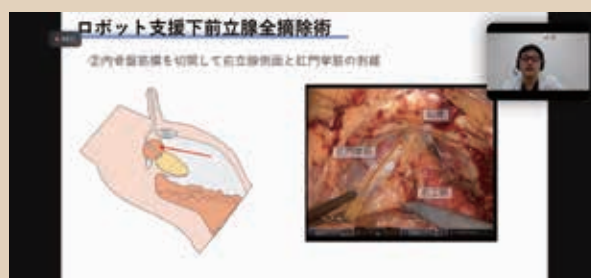
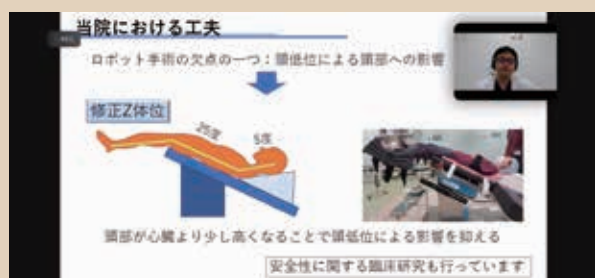
2022年

4月	第20回	循環器内科	北口 勝司	新規心不全治療薬の特徴と導入のタイミング ~作用機序から考える~
5月	第21回	循環器内科	木村 剛	枚方公済病院に着任して
6月	第22回	循環器内科	一戸 田平	慢性血栓塞栓症肺高血圧 ~自験例を中心に~
7月	第23回	心臓血管外科	山田 有紀	当院 呼吸器疾患診療についてのご挨拶と現状報告
9月	第24回	循環器内科	藤田 亮子	非薬物療法としての心臓リハビリテーション
10月	第25回	循環器内科	高木 大輔	日常診療で出会う急性中毒
11月	第26回	循環器内科	渡部 宏俊	循環器関連の最近の抗血栓療法の考え方

2023年

1月	第27回	循環器内科	高林 健介	DPC情報から見える北河内医療圏の現状と未来・枚方公済病院の役割
2月	第28回	循環器内科	北口 勝司	心不全治療薬Fantastic4と抗不整脈薬の使い方 ~100点を目指さなければ怖くない~
3月	第29回	循環器内科	北口 勝司	19年間の感謝 そして、今後の日本医療への想い
4月	第30回	循環器内科	木村 剛	枚方公済病院の現状と将来展望
5月	第31回	循環器内科	竹中 洋幸	これから枚方公済病院循環器内科が目指すもの
6月	第32回	内分泌代謝内科	田中 永昭	糖尿病のある人に愛される病院になりたい
8月	第33回	医療法人春秋会 城山病院 循環器科・不整脈科部長	吉谷 和泰	ガイドラインから紐解くアブレーションの適応
9月	第34回	循環器内科	木村 剛	STOPDAPT-3試験速報：今後のPCI後の抗血栓療法は？
10月	第35回	泌尿器科	岡所 広祐	ロボット支援下前立腺全摘除術 ~当院の現状と工夫~

ご視聴希望のレクチャーがございましたら枚方公済病院 地域医療連携室までご依頼ください。



3号館病棟についてご紹介します

3号館病棟は呼吸器内科、総合内科、総合診療科、内分泌代謝内科、泌尿器科、腎臓内科を中心とした混合病棟です。他の病棟に比べると面積は広く開放感がありますが歴史を感じさせる重厚感に包まれた構造です。

今年は糖尿病教育入院のプログラムを更新する予定です。糖尿病教育入院は、患者さんが糖尿病についての知識や自己管理のスキルを向上させるための重要な機会であり、多職種との連携を重視して取り組んでいます。私たちのチームは、医師、看護師、管理栄養士、薬剤師、理学療法士、健康運動指導士など、さまざまな専門職のメンバーで構成されています。それぞれの専門性を活かし、患者さんのニーズに合わせた総合的なケアを提供しています。

医師は糖尿病の診断や治療計画を担当し、薬剤師は適切な薬物療法に関する情報を提供します。看護師は血糖管理やインスリン注射の指導、糖尿病ケアのサポートを行いました。管理栄養士は食事管理、理学療法士、運動療法士は運動指導など、ライフスタイルの変更に関する教育を行います。患者さんとその家族も積極的に参加し、情報共有や質問に対す

るサポートを行います。私たちは、糖尿病教育入院を通じて、患者さんが糖尿病の自己管理能力を向上させ、より健康的な生活を送ることを支援しています。多職種の連携により、患者さんに適切な情報とサポートを提供し、持続的なケアを実現しています。

このたび、血糖測定器 FreeStyle リブレを取り扱うことになりました。センサーを装着すると、いつでも、どこでも、服の上からでも間質液中のグルコース（ブドウ糖）濃度を測定できます。指先に針を刺すことなく測定が可能で、スマートフォンアプリでの管理が可能です。患者さんの糖尿病の療養生活に大変役立つものになるでしょう。

また3号館病棟の看護師は、糖尿病療養指導士や呼吸療法認定士の資格を持った看護師や、経験豊富な中堅看護師が多く、この強みと病棟の特殊性を活かし、患者さんのケアを提供しています。看護師の一人ひとりの自主性や意欲を尊重し、チームワークを重視した看護体制を作り、患者さん一人ひとりを大切に寄り添える、患者さんの思いを踏まえてQOLを考慮した看護が提供できることを目指しています。



糖尿病チーム会議の様子

3号館病棟師長 坂口 みつる





活動報告

レインボープロジェクト活動の1つで、レインボー手帳の活用を地域に広げ、連携を行っていくためにこれまで年に2～3回「北河内心疾患多職種勉強会」が行われています。コロナ禍になってからは、リモートでの開催が継続されており毎回院内外、100名前後の参加があります。12月に行われた第11回は「非常に大切、なのに課題も多い多職種連携～立場をこえて現場の思いを語りましょう～」をテーマに入退院支援やレインボー手帳の活用など様々な職種の方の現状や思いを聞くことができました。

7/1には第12回がハイブリットで開催され会場でも多数の方が聴講されました。

今回のテーマは「循環器診療における遠隔モニタリング～看護・リハビリ・検査の視点から皆で考えてみましょう～」で、高齢化が進行する中、来院しなくても在宅でモニタリングができる方法として注目されており、今後の活用として現状や課題など学ぶことが多くありました。

慢性心不全看護認定看護師 原谷 こずえ

第12回 北河内心疾患多職種勉強会
 循環器診療における遠隔モニタリング
 ～看護・リハビリ・検査の視点から皆で考えてみましょう～
 2023年7月1日(土) 16:00-17:30
 ハイブリット開催 ● 会場：枚方公済病院 セミナールーム1

PROGRAM

開会の辞 山田 誠 先生 医療法人山田健クリニック 院長 (医師)

司会 山本 貴士 先生 枚方公済病院 循環器内科 副部長 (医師)

訪問看護と遠隔モニタリング
 ～退院カンファレンスでの事例、医師の死亡診断時の今後の活用～
 登壇 南條 律子 さん・吉峯 恵 さん アイエス訪問看護ステーション(看護師)


高齢心不全患者さんに遠隔心臓リハビリを導入するための工夫
 ～自施設で経験した2症例を対比して～
 登壇 大木 敦司 さん 枚方公済病院 リハビリテーション科 (理学療法士)

遠隔モニタリングを通じて考えた多職種連携
 ～デバイスデータによるモニターの有用性と限界～
 登壇 一戸 田平 先生 枚方公済病院 循環器内科 副部長 (医師)

Discussion 中島 準仁 さん 医療法人協仁会 小松病院 臨床工学科次長 (臨床工学技士)
 寺崎 由香 先生 医療法人協会 天の川病院 院長補佐 循環器内科部長 (医師)
 竹廣美方子 先生 竹広内科 院長 (医師)

閉会の辞 木村 剛 先生 枚方公済病院 院長 (医師)

RAINBOW PROJECT
 毎週金曜日ご祝いの際、ご挨拶もあよりご署名の入れをお願いいたします。皆様同様に喜ばれましたこと幸いです。ご署名は、医療誌および医学・薬学に関する情報誌等に転載させていただきます。
 共催：KKR 枚方公済病院・第一三共株式会社

病棟ごとの勉強会 依頼受付中!

認定看護師会では病棟ごとの勉強会、
研修の依頼を受け付けています。
既存のテーマでも、看護で困っていることなど
なんでも結構です!

リクエストお待ちしております!



各分野認定看護師

クリティカルケア：村上
 慢性心不全看護：原谷
 感染管理：篠原
 皮膚・排泄ケア：大西
 認知症看護：藤原
 認知症看護：佐藤
 嚥下・摂食障害看護：日向
 がん薬物療法看護：多賀





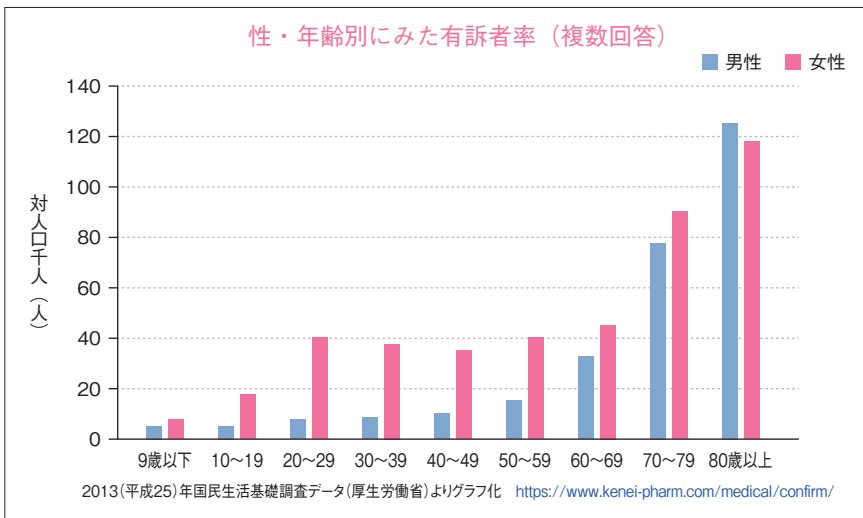
高齢者と便秘

高齢者は便秘になりやすい？

加齢に伴い、男女ともに便秘になる人が多いようです。

救急外来にも「便が出ない」と定期的に受診する方がおられます。

日本では「便秘ぐらいで・・・」と軽くとらえられがちですが、海外データでは「QOLを低下させ、日常生活に支障をきたす」ことが報告されているようです。



なんで便秘になりやすいの？

高齢者の便秘の原因で一番多いのは腸の蠕動運動の低下であり、「弛緩性便秘」と言われています。日の運動量の低下、加齢、義歯、咀嚼機能の低下による食事量の減少、食物繊維が少ないことが原因です。また、腸の働きに関連する副交感神経や、腸の筋力の衰えも原因として挙げられます。

食物繊維・乳酸菌・水分
意識してとろう



予防するには？

食生活や生活習慣の改善が大切です。特に食事は大事で、「野菜や海藻類などの食物繊維」「ヨーグルトや味噌などの乳酸菌」「水分」などを摂るようにしましょう。

また、おなかを「のの字」にマッサージすることで腸を直接刺激し、排便を促すことができます。固い便には寝る前の大さじ1杯のオリーブオイルを飲むと効果的な場合もあります。

クリティカルケア認定看護師 村上 千亜紀

理念と基本方針

理念 医療への貢献と奉仕

基本方針

- 地域における中核病院として、快適な療養環境と高度な医療を提供する。
- 患者さんの立場を尊重した合理的かつ安全な医療を行う。
- 病院は働き甲斐のある職場を整備し、職員は知識と技術の研鑽に励む。
- 強く、優しく、頼れる病院を目指す。

交通のご案内

JRをご利用の場合

【電車】 JR 学研都市線長尾駅下車 徒歩 10 分

【バス】 長尾駅から京阪バス枚方市駅行【63】に乗車、枚方公済病院下車

【電車】 JR 学研都市線藤阪駅下車 徒歩 10 分

【バス】 藤阪駅から京阪バス長尾駅行【63】に乗車、枚方公済病院下車

京阪電車をご利用の場合

【電車】 京阪本線枚方市駅下車（京阪バス南口から長尾駅行）

【バス】 枚方市駅から京阪バス長尾駅行【63】に乗車、枚方公済病院下車

※長尾駅より無料直通シャトルバスを運行しております。

（詳細は当院ホームページをご参照ください）



国家公務員共済組合連合会
枚方公済病院
地域医療支援病院
日本医療機能評価機構認定病院



※病院ホームページ

〒573-0153 大阪府枚方市藤阪東町1丁目2番1号
TEL 072 (858) 8233 FAX 072 (859) 1093
<https://hirakoh.kkr.or.jp/>